

行動連携に当たっての 具体的な方策

以下は、これまで述べてきた基本的な考え方にに基づき、
学校が関係機関等と連携し、

児童生徒の問題行動等へ効果的に対応していくための具体的な方策である。

サポートチーム等の取組は、学校が関係機関等と連携して
児童生徒の問題行動等へ対処する効果的な仕組の一つではあるが、
その実施に当たっては、地域の実情に応じて柔軟に取り組むことが重要である。

本報告書中のフローチャートについても、学校と関係機関等
(警察署、少年サポートセンター、児童相談所、福祉事務所、保健所、民生・児童委員、
主任児童委員、保護司、少年警察ボランティア等をいう。以下同じ。)
との行動連携の一例をモデルとして示したものであると理解されたい。

なお、以下の本文中で取り上げられる取組例については、
事業指定地域からの報告等に基づくものである。



対応1
日ごろからの
連携

チェック
サポート
チーム形成の
必要性の判断

対応2
サポート
チームの
形成

対応3
サポート
チームの
活動

対応4
サポート
チームの
終結